

緊急採用(第一種)奨学金継続願

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構奨学金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。つきましては、返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、別紙のとおり申告するとともに、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

奨学生番号				学籍番号	提出日	西暦	年	月	日
6		0			生年月日	西暦	年	月	日 (満 歳)
大学(院) 短期大学 学校				学部	学科(科)	フリガナ	印		
				課程	研究科	氏名 (自署)			
卒業予定年月						年	月		

※太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入のうえ学校に提出すること。

●変更後の借用金額を訂正する場合は本人印を押印してください。(変更後の借用金額を訂正する場合以外は本人印は不要です。)

変更後の借用金額 (予定・総額)									円
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	---

- ・貸与奨学金返還確認票に印字された借用金額(予定)に、貸与期間(終期)を延長することで貸与される金額を加えて記入してください。
- ・給付奨学金(新制度)の支給及び授業料等減免の支援を受けていることにより、貸与月額が調整されている場合も同様に記入が必要です。貸与月額が調整されている場合は、提出日時点での貸与月額で算出し、その貸与予定額を加算のうえ記入してください。貸与月額が0円の場合も同様です。
- ・借用金額を訂正する場合は、訂正方法について学校に確認してください。

緊急奨学金必要事由等の現状は下記のとおりですが、来年度においてもなお奨学金を必要とするので、継続貸与をお願いします。

継続貸与の 主な事由	<input type="checkbox"/> 解雇・退職 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 離別 <input type="checkbox"/> 破産 <input type="checkbox"/> 病気 <input type="checkbox"/> 事故 <input type="checkbox"/> 倒産 <input type="checkbox"/> 経営不振 <input type="checkbox"/> その他給与収入激減等 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 風水害 <input type="checkbox"/> 震災 <input type="checkbox"/> 災害救助法適用者 <input type="checkbox"/> 学校廃止による転学のため著しく支出が増大
該当する項目を <input checked="" type="checkbox"/> で選択	
◎上記事由について具体的に記述 (必ず奨学生本人が記入してください)	

■保証制度 (必ず記入してください。)

※現在選択している保証制度を で選択

- ・人的保証の場合は、連帯保証人・保証人それぞれの署名と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書が必要です。
- ・機構届出の連帯保証人又は保証人の変更を伴う場合は、「連帯保証人・保証人等変更届」も併せて提出してください。

<input type="checkbox"/> 人的保証 ※右側を記入し、それぞれ印鑑登録証明書を添付	私は、上記の貸与期間の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。 〒 住所 氏名 電話番号 (昭和・平成) 生年月日 年 月 日 実印
	私は、上記の貸与期間の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。 〒 住所 氏名 電話番号 (昭和・平成) 生年月日 年 月 日 実印
<input type="checkbox"/> 機関保証	今後貸与を受ける奨学金の保証を、引き続き公益財団法人日本国際教育支援協会に委託しますので、保証料は貸与金額から日本学生支援機構が差し引いて同協会に支払うこととさせていただきます。 ※機関保証加入者は、貸与期間の延長に伴い保証料月額が変更となります。

■本人が未成年者の場合のみ記入

上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者又は未成年後見人	〒 住所 (親権者・未成年後見人) 氏名 (自署)	電話番号
	〒 住所 (親権者) 氏名 (自署)	電話番号

※本人が未成年者(20歳未満)の場合には、親権者がそれぞれの欄に自署してください。

親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署してください。親権者とは、民法に定める親権者のことで、通常は両親です。

両親がいる場合は、必ず2名とも記入してください。いずれかがない場合は一人が記入し、余白に一人の旨を記入してください。

未成年後見人がいる場合は、未成年後見人が自署してください。奨学金申込時の「親権者又は未成年後見人」から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

(学校の証明) 20 年 月 日

学校名

関係課長(※)

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

奨学金継続に係る申告書は本人より受取り済(記入)

受取済

返還誓約書は機構に提出済(記入)

提出済

電話番号 (担当者名)	

学校番号	区分

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。